

◎礼拝説教：2020年3月8日

◎説教者：中村準一 牧師

◎タイトル：癒やし主なる神

◎今日の聖書：創世記37：2－17

2ヤコブの子孫は次のとおりである。ヨセフは十七歳の時、兄弟たちと共に羊の群れを飼っていた。彼はまだ子供で、父の妻たちビルハとジルパとの子らと共にいたが、ヨセフは彼らの悪いうわさを父に告げた。3ヨセフは年寄り子であったから、イスラエルは他のどの子よりも彼を愛して、彼のために長そでの着物をつくった。4兄弟たちは父がどの兄弟よりも彼を愛するのを見て、彼を憎み、穏やかに彼に語るができなかった。5ある時、ヨセフは夢を見て、それを兄弟たちに話したので、彼らは、ますます彼を憎んだ。6ヨセフは彼らに言った、「どうぞわたしが見た夢を聞いてください。7わたしたちが畑の中で束を結わえていたとき、わたしの束が起きて立つと、あなたがたの束がまわりにきて、わたしの束を踏みました」。8すると兄弟たちは彼に向かって、「あなたはほんとうにわたしたちの王になるのか。あなたは実際わたしたちを治めるのか」と言って、彼の夢とその言葉のゆえにますます彼を憎んだ。9ヨセフはまた一つの夢を見て、それを兄弟たちに語って言った、「わたしはまた夢を見ました。日と月と十一の星とがわたしを踏みました」。10彼はこれを父と兄弟たちに語ったので、父は彼をとがめて言った、「あなたが見たその夢はどういうのか。ほんとうにわたしとあなたの母と、兄弟たちとが行って地に伏し、あなたを拝むのか」。11兄弟たちは彼をねたんだ。しかし父はこの言葉を心にとめた。12さて兄弟たちがシケムに行き、父の羊の群れを飼っていたとき、13イスラエルはヨセフに言った、「あなたの兄弟たちはシケムで羊を飼っているではないか。さあ、あなたを彼らの所へつかわそう」。ヨセフは父に言った、「はい、行きます」。14父は彼に言った、「どうか、行って、あなたの兄弟たちは無事であるか、また群れは無事であるか見てきて、わたしに知らせてください」。父が彼をヘブロン谷からつかわしたので、彼はシケムに行った。15ひとりの人が彼に会い、彼が野をさまよっていたので、その人は彼に尋ねて言った、「あなたは何を捜しているのですか」。16彼は言った、「兄弟たちを捜しているのです。彼らが、どこで羊を飼っているのか、どうぞわたしに知らせてください」。17その人は言った、「彼らはここを去りました。彼らが『ドタンへ行こう』と言うのをわたしは聞きました」。そこでヨセフは兄弟たちのあとを追って行って、ドタンで彼らに会った。

◎宣教

ヤコブは、12人の男の子に恵まれましたが、自分の息子たちに公平に接することができませんでした。彼はラケルの子ヨセフだけを溺愛して、甘えさせ、暖かくて美しい衣類を着せましたが、他の息子たちには、仕事着をきせて、辛い仕事をさせました。そこで、兄たちは、ヨセフに対する憎しみを抱き、父親に対する不満を、つのらせていきました。さらに、ヨセフは不思議な夢を見たのでした。その夢は、兄弟たちの中で、自分が一番高

い地位につき、兄たちも、両親も、自分の前に頭を下げるということでした。人間は、精神的な重荷を負うと、耐えることができずに、心の中に大きな傷を持つのです。ヤコブは信仰をもって、大きな重荷に耐えてきましたが、それでも、彼の心の中には、深い傷を負っていたのです。その傷は、彼の全家族を破滅させるほどのものでした。心の傷は、深い悔い改めを通して癒されるのです。ヤコブと、彼の12人の息子たちを深い悔い改めに導いた方は、イスラエルの神様でした。神様の導きは、単なる教訓を与えたものではありません。実生活を通して導いたのです。神様は、現在の私たちの信仰生活をも導いておられます。生活の中で、自分の思うようにならないことがあっても、それも、神様の導きの一つだと信じましょう。そして、神様を賛美し、感謝して従いましょう。それが勝利への道なのです。